



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

“情熱” Passion

Conductor



Kazuyoshi Akiyama

広島交響楽団  
第344回定期演奏会

2014 11.12 水

18:45開演(17:45開場)  
Wed Nov 12 2014 Start 18:45 (Open 17:45)広島文化学園HBGホール  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall  
〒730-8787 広島市中区加古町3-3

ブラームス交響曲チクルス Ⅲ

## 情熱の日



ブラームス:

ピアノ協奏曲第2番 変ロ長調Op.83

Brahms: Piano Concerto No.2 in B-Flat major Op.83

ブラームス:

交響曲第2番 二長調Op.73

Brahms: Symphony No.2 in D major Op.73

〈指揮〉秋山 和慶 〈ピアノ〉河村 尚子


Piano

©居坂浩文

チケット(税込/全席指定): S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器  
ローソンチケット(Lコード:69285)・チケットぴあ(Pコード:219-731)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売  
チケット発売日:一般プレイガイド 2014年9月12日(金) / 広響事務局 2014年9月12日(金)※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主 催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)プレミアム協賛 /  巢守金属工業株式会社 /  広島銀行後 援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社

お問い合わせ

広響事務局 TEL: 082-532-3080 E-mail: info@hirokyo.or.jp

中国新聞企画サービス TEL: 082-236-2230

広響公式ホームページ ▶







ブラームス交響曲チクルス Ⅲ

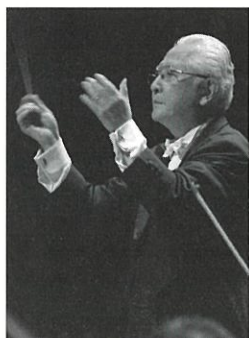
# 情熱の日



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

“情熱” Passion

秋山和慶指揮活動50周年とブラームス交響曲チクルスのダブルタイトルを冠し、  
交響曲第2番にあわせ、協奏曲もブラームスの第2番を選びました。  
世界的オーケストラや指揮者との共演を重ね、  
大器のオーラをまとう河村尚子が、待望の広響定期再登場です。  
ブラームスに染まる情熱の日。



指揮 Conductor  
**秋山 和慶**  
Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。トロント交響楽団の副指揮者を皮切りに、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース交響楽団音楽監督(現在名誉指揮者)を歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロスアンゼルス・フィル、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィル、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団、ロイヤル・フィル、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1998年に広島交響楽団首席指揮者・ミュージックアドバイザーとなり、2004年には音楽監督・常任指揮者に就任。定期演奏会やディスカバリー・シリーズ、2度の海外公演(ロシア、韓国)などで広響の能力を飛躍的に伸ばし、各方面から高い評価を受けている。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞、川崎市文化賞、広島市民賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞のほか、紫綬褒章、旭日小綬章なども受章。

現在、広島交響楽団音楽監督/常任指揮者、東京交響楽団桂冠指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストック・ディレクター/プリンシパル・コンダクターを務めている。



ピアノ Piano  
**河村 尚子**  
Hisako Kawamura

ハノーファー国立音楽芸術大学在学中、ミュンヘン国際コンクール第2位、クララ・ハスキル国際コンクール優勝し一躍世界の注目を浴びる。

日本では、2004年小林研一郎指揮/東京フィルハーモニー定期演奏会でデビュー。以来、準・メルクル指揮NHK交響楽団を含む日本国内の主要オーケストラと相次いで共演を重ねる一方、フェドセーフ指揮モスクワ放送響、ルイージ指揮ウィーン響の日本公演のソリストにも選ばれている。最近ではヤノフスキ指揮ベルリン放送交響楽団やプレトニョフ指揮ロシアナショナル管弦楽団の日本ツアーに参加、またNHK交響楽団(ノリントン指揮)やアンサンブル金沢などの定期演奏会へ初登場などが絶賛を博し、その後も日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団との共演が相次いでいる。2013年はテミルカーノフ/読売日本交響楽団、ラザレフ/日本フィルハーモニー交響楽団、ピエロフラーヴェク/チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ハーゲン・カルテットの名チェリスト、クレメンス・ハーゲン等と共演し、いずれの公演も大成功であった。2014年にはデビュー10周年を迎え、さらに国内外での活躍を広げる予定。2015-16シーズンには、M.ホルヌング(チェロ)とロンドン・ウィグモアホール、R.オルテガ・ケロ(オーボエ)とニューヨーク・カーネギーホールでのデビューを含め、同世代の実力派アーティストたちとも多角的な活動が展開される。

新日鉄音楽賞、出光音楽賞、日本シヨパン協会賞、井植文化賞受賞、文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞、ホテル・オークラ音楽賞を受賞。CDは「夜想(ノットウルノ)〜シヨパンの世界」「シヨパン:ピアノ・ソナタ第3番、シューマン:フモレスケ」「シヨパン:バラード」(RCA Red Seal)に続き、2014年9月「河村尚子/ラフマニノフ」をリリース予定。

オフィシャルHP <http://www.hisakokawamura.com>

次回定期演奏会 2015 **1.23** 金 第345回定期演奏会

広島文化学園HBGホール  
18:45開演(17:45開場)

ブラームス交響曲チクルス IV

## 自由と平和

オネゲル: 交響曲第3番H.186「典礼風」

ブラームス: 交響曲第3番へ長調Op.90

ブラームス交響曲チクルス最終回は、全てを捨ててまで自由を求めた、ブラームスのメッセージとしての第3番で締めくくります。前半は同じ第3番でも秋山の真骨頂といえる作曲家、オネゲルの「典礼風」とのカップリング。オネゲルの「人類の平和への願い」が込められた作品に秋山×広響が情熱の息吹を注ぎます。



〈指揮〉秋山 和慶